

山岳部 強風の中の尾根歩きは部員の度胸を鍛えたか (10月10日(土))

秋深まり、紅葉の美しい季節になりました。これから冬を迎えるに当たり、昨年の岩見沢の大雪にも少なからず影響を与えていた樺戸山系の尾根を体験しに行ってきました。当初、浦臼山～樺戸山～隈根尻山へと足を伸ばす予定でしたが、風が強い予報を見た部員が前夜からビビっていたので、まず浦臼山まで行きその先は状況を見て判断することにしました。浦臼山まで熊の落とし物も全く見られず、快調に進みました。尾根に出たところで見事に平らな空知の平野地帯を一望し、部員からも感動の声が上がりました。浦臼山で暫し休憩し、風にビビる部員達を尻目に樺戸山へと向かいます。細尾根に気をつけながらアップダウンを繰り返し進むと風はさらに強くなり、道も笹が多く覆い半ば藪漕ぎ状態になっていきました。樺戸山に近づくと雲に覆われますます視界が悪くなり、風に飛ばされた帽子にさよならを言う部員もいました。最後は低空飛行態勢で何とか樺戸山山頂に到着。どっぴり雲に覆われ姿形の全く見えない隈根尻山は次回に持ち越しとし、下山となりました。困難に思えることも体験してしまえば自分の限界の枠組みを広げるチャンスになるものです。今回の経験は、はたして部員の度胸を鍛えたか？結局、楽しかったみたいだな。



登山口砂防ダム前で



紅葉の季節です



浦臼山山頂



尾根沿いに道が続きます



雲に覆われ先の視界が遮られることも



何とか辿り着いた樺戸山山頂



下山はやがてハイピッチに